

# 2022年度以降の地域間連系線の 運用容量に長期間影響を与える件名

2020年 2月28日

電力広域的運営推進機関

- 年間作業停止計画は翌年度・翌々年度分について調整・承認することが、業務規程で定められている。
- それに加え、長期的な予見性を確保するため、第3年度（2022年度）以降の件名が具体化している地域間連系線の運用容量に長期間影響を与える件名についても、以下のとおり公表する。
- なお、以下の件名の作業時期・期間及び作業工程等については確定したものではなく、今後、送配電等業務指針第244条（作業停止計画の調整における考慮事項）に基づき、翌年・翌々年段階において調整する。

（該当件名）

No.	連系線	停止（制約）設備	主要作業件名	作業時期・期間（予定）
①	東京中部間（東清水）	東清水FC停止	直流制御保護装置更新工事	2023年1月頃以降、連続5ヵ月間程度（系統連系試験を含む）※
②	東京中部間（新信濃）	南信幹線1回線停止に伴う中信変電所系統切替による新信濃FC制約	下伊那分岐線新設工事	2023年3月頃以降、各回線連続40～45日程度を2回（最大計90日程度）※
③	北陸関西間	越前嶺南線1回線停止	電力線張替工事	2022年9月～12月の間で連続2ヵ月半程度
④	中国四国間	本四連系線1L停止	ケーブル張替工事	2022年5月～6月頃（50日程度）

※ 作業時期が重なっているため、今後、要調整

## ① 東京中部間連系設備：東清水FC直流制御保護装置更新工事

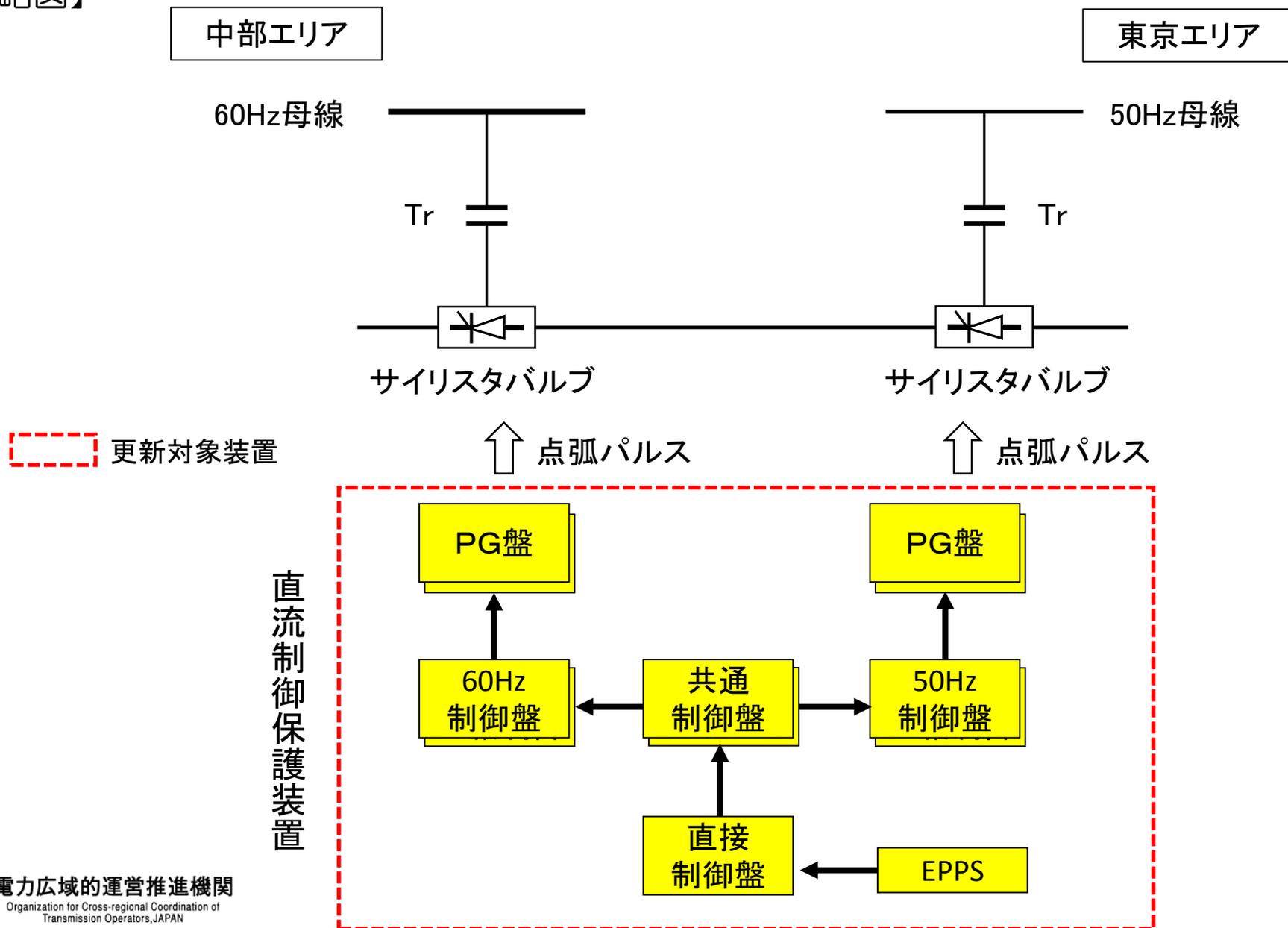
## 【作業概要】

項目	内容
作業箇所	東清水変電所
主要作業内容	直流制御保護装置の更新工事
停止(制約)設備	東清水F C停止
作業停止期間 (予定)	2023年1月頃以降、連続5か月程度（系統連系試験を含む）
作業の必要性	東清水F Cの制御保護装置は1996年製であり、主要部品の製造中止に伴う製作者による保守対応期限を迎えている。このため、2022年度から2023年度にかけて更新工事を実施。

※作業停止期間、作業工程等の詳細は調整中

# ① 東京中部間連系設備：東清水FC直流制御保護装置更新工事

【概略図】



## ② 東京中部間連系設備：下伊那分岐線新設工事に伴う新信濃F C制約

### 【作業概要】

項目	内容
作業箇所	南信幹線1回線
主要作業内容	【下伊那分岐線新設】鉄塔建替に伴う移線工事
停止(制約)設備	南信幹線1回線停止に伴う中信変電所系統切替による新信濃F C制約(最大60万kW制約)
作業停止期間 (予定)	2023年3月頃以降、各回線連続40~45日程度を2回 (最大計90日程度)
作業の必要性	リニア中央新幹線への電源供給のための下伊那分岐線新設に伴い、分岐鉄塔である南信幹線の一部鉄塔の建替が必要。

※作業停止期間、作業工程等の詳細は調整中

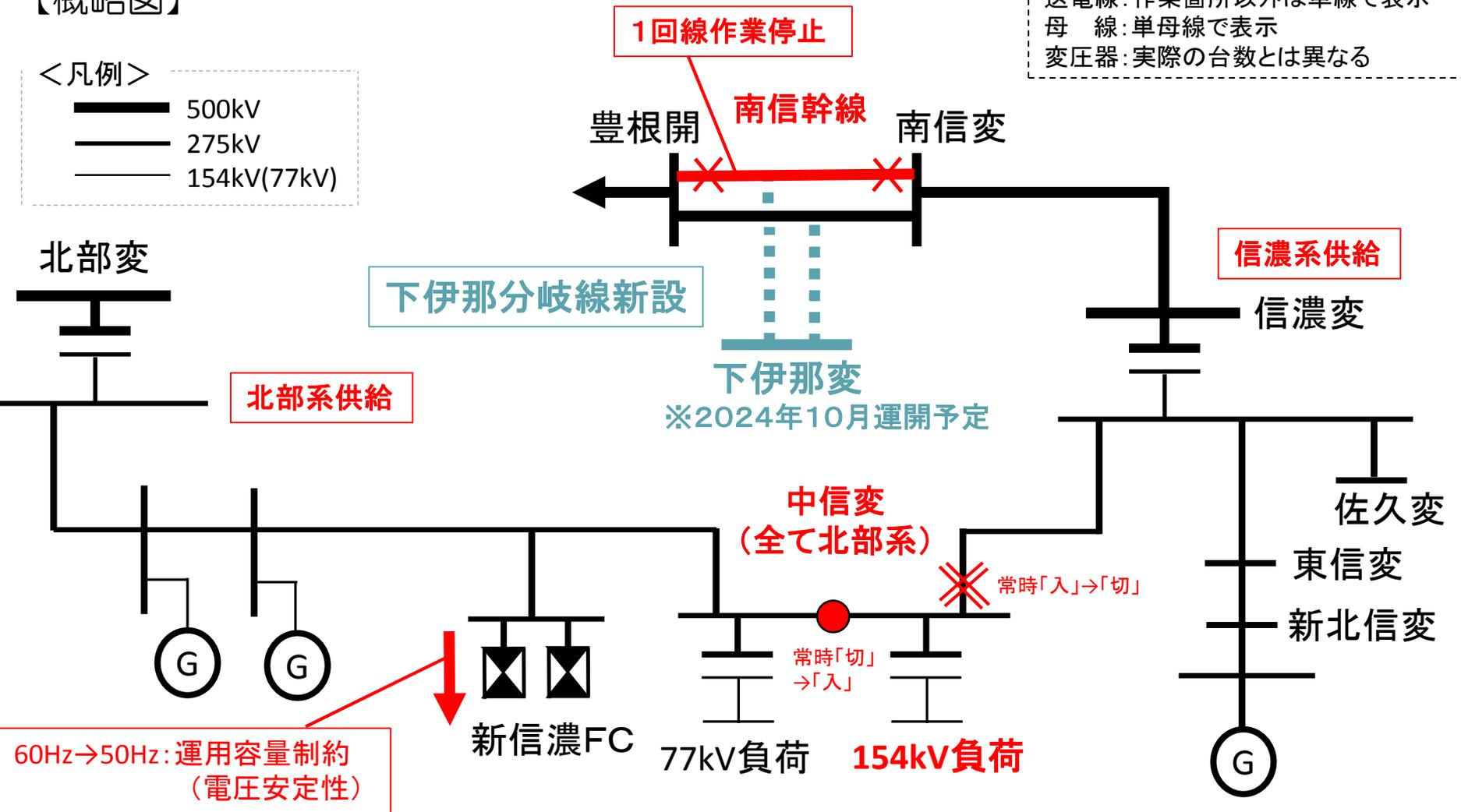
# ② 東京中部間連系設備：下伊那分岐線新設工事に伴う新信濃FC制約

中信変電所の154kV負荷は常時は信濃系供給であるが、南信幹線1回線停止に伴い、供給信頼度の観点から、北部系供給へ切替。その結果、電圧安定性面から、新信濃FCに運用容量制約が発生。(新信濃FCが重潮流になると中信変の電圧が大きく低下する)

### 【概略図】

- <凡例>
-  500kV
  -  275kV
  -  154kV(77kV)

送電線: 作業箇所以外は単線で表示  
 母線: 単母線で表示  
 変圧器: 実際の台数とは異なる



### ③ 北陸関西間連系線：越前嶺南線 1 回線電力線張替工事

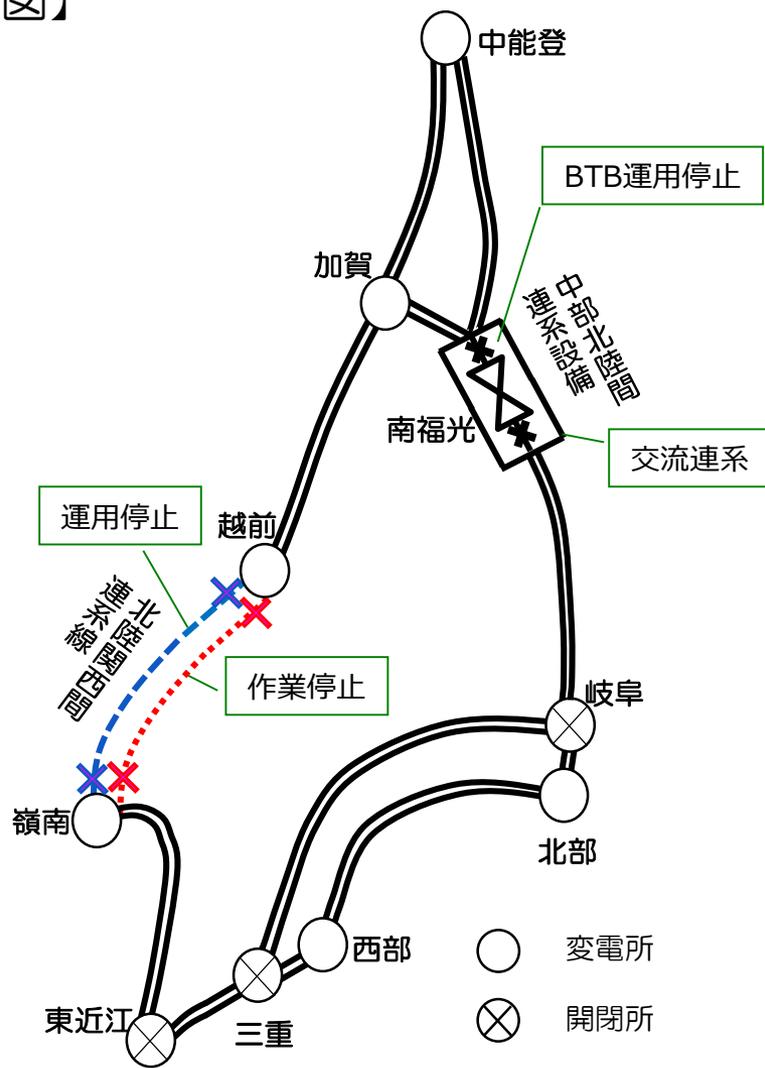
#### 【作業概要】

項目	内容
作業箇所	越前嶺南線 1 回線
作業内容	電力線張替工事
停止(制約)設備	越前嶺南線 1 回線停止
作業停止期間 (予定)	2022年9月～12月の間で連続2ヵ月半程度
作業の必要性	越前嶺南線 1 L については経年46年、越前嶺南線 2 L については経年45年であり、腐食により老朽化が進んでいることから設備事故防止のため電力線張替が必要。

※作業停止期間、作業工程等の詳細は調整中

### ③ 北陸関西間連系線：越前嶺南線 1 回線電力線張替工事

#### 【概略図】



#### ■ 北陸関西間連系線 1 回線停止時の運用

- N-1故障発生時のルート断や、北陸フェンス運用容量の大幅な低下を回避するため、北陸関西間連系線を1回線停止する場合は、北陸関西間連系線をルート開放し、南福光地点で交流連系する。(BTBは運用停止)

## ④ 中国四国間連系線：本四連系線 1 L ケーブル張替工事

## 【作業概要】

項目	内容
作業箇所	本四連系線 1 L
主要作業内容	ケーブルの一部区間張替工事
停止(制約)設備	本四連系線 1 L 停止
作業停止期間 (予定)	2022年5月～6月頃(50日程度)
作業の必要性	設備の健全性確保のため、定期的にケーブル内の油中ガス分析を実施しており、2019年度に実施した油中ガス分析データを踏まえた劣化の進展予測の結果、2022年度にはケーブルの一部区間張替が必要であると判断されたため。

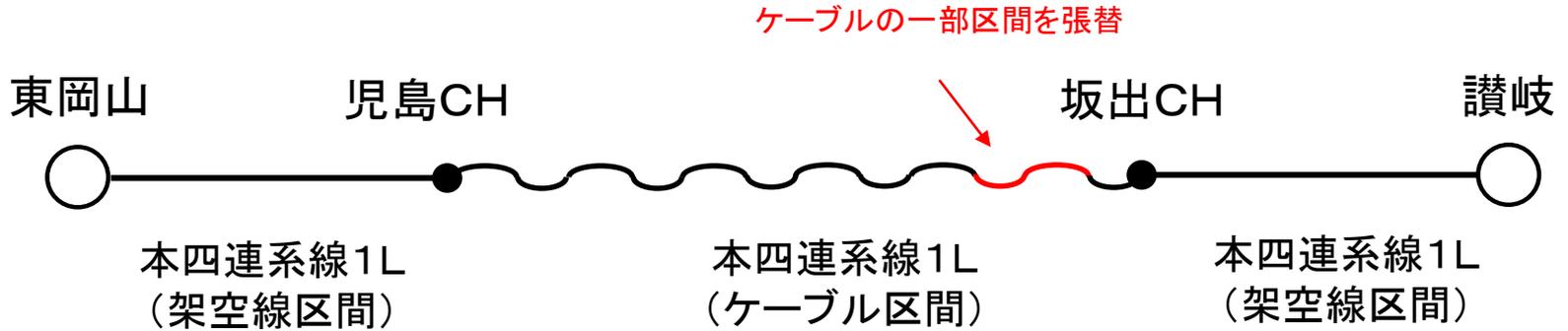
※作業停止期間、作業工程等の詳細は調整中

# ④ 中国四国間連系線：本四連系線1Lケーブル張替工事

【概略図】

中国エリア

四国エリア



【凡例】

- 変電所
- 500kV送電線 (架空線)
- 〰 500kV送電線 (ケーブル)
- ケーブルヘッド(CH)